

25 妊産婦の労働について (第5報)

宇都宮大学芸 菅原 まさ

1 妊産婦の適正な労働環境を見出し、健康な婦人の生活を家政学の立場から研究することを目的とする。

2 健康な妊産婦をえらび、今回は特に労働姿勢と労働の関係を、Dauglas Bag 法により被検者の消費 Cal から検討する。

3 前回までの基礎代謝安静値代謝に対して、モデル作業と実際の作業とにおいて、消費された Cal を比較してみると、非妊婦より多いことが解ったので、妊婦の場合に R. M. R. によって、労働力を表現するより、むしろ消費 Cal による比較の方が、より適切ではなからうかと思われた。

更に妊婦にあっては姿勢の影響が、非妊婦より更に大きい事が解ったので、中間報告をする。